

# プロジェクト(案)

# 目次

- 手城川水系流域治水プロジェクト . . . P1, 2
- 黒瀬川水系流域治水プロジェクト . . . P3, 4
- 本川水系流域治水プロジェクト . . . P5, 6
- 永慶寺川水系・御手洗川水系・可愛川水系流域治水プロジェクト . . . P7, 8
- 永田川水系・小鹿野川水系・田中川水系流域治水プロジェクト . . . P9, 10
- 瀬野川水系・矢野川水系・総頭川水系・尾崎川水系流域治水プロジェクト . . . P11, 12
- 八幡川水系・岡ノ下川水系流域治水プロジェクト . . . P13, 14
- 高田川水系・大長川水系・原田川水系・原下川水系・小原川水系流域治水プロジェクト . . . P15, 16
- 沼田川水系・和久原川水系・西野川水系流域治水プロジェクト . . . P17, 18
- 二河川水系・堺川水系・大谷川水系流域治水プロジェクト . . . P19, 20
- 木谷郷川水系・賀茂川水系・高野川水系・蛇道川水系・三津大川水系流域治水プロジェクト . . . P21, 22
- 野呂川水系流域治水プロジェクト . . . P23, 24
- 大正川水系・熱田川水系・沖田川水系・重井川水系・倉崎川水系・大河原川水系流域治水プロジェクト . . . P25, 26
- 藤井川水系・栗原川水系・大田川水系流域治水プロジェクト . . . P27, 28
- 本郷川水系・羽原川水系・新川水系・山南川水系・才戸川水系・本谷川水系流域治水プロジェクト . . . P29, 30

- 平成30年7月豪雨で甚大な被害が発生した手城川水系では、平成7年7月に発生した豪雨を目標とする整備計画の実施に加えて、平成29年9月豪雨（短期集中降雨）の降雨50(mm/60分)及び平成30年7月豪雨（長期継続降雨）の降雨243(mm/24h)と同規模の降雨に対し100mm/h安心プランを策定し、流域における床上浸水被害の解消を図る。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、福山市】
- ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【福山市】
- ④雨水貯留機能の向上【福山市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
  - ・立地適正化計画の策定・運用【福山市】
  - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【福山市】
  - ・止水板の設置補助【福山市】

雨水貯留施設の堆積土砂撤去(半田池)



止水板設置補助金制度(パンフレット)

自宅や店舗等へ止水板の設置をお考えの方へ

最大 **50** 万円の補助が受けられます！

止水板とは

玄関など建物の出入口や、水の浸入経路に取り付ける板などで、形や材質は様々です。大雨などにより道路等に洪水が発生した場合、建物内部への水の浸入を抑えます。人力で取り付けが容易にできる種類もあります。

対象事業

- 止水板の購入
- 設置工事
- 撤去工事（外壁の防水工事、土間コン工事）

【問合せ先】 福山市上下水道局経営管理部 お客さまサービス課  
〒720-8526 福山市古野1-10-21番2号  
福山市上下水道局 電話：(085) 222-5132  
8:30～17:15（土日祝日・年末年始を除く）  
詳しくはこちらから



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ⑧ハザードマップの作成・周知
    - ・洪水ハザードマップ及び内水ハザードマップの作成【福山市】
    - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県】
    - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【福山市】
  - ⑨高齢者等避難の実効性の確保
    - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【福山市】
  - ⑩防災体制の強化
    - ・情報伝達手段の多重化促進【福山市】
    - ・水防訓練の実施【福山市】
    - ・関係機関との各種連携【広島県、福山市】

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 手城川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成29年9月及び平成30年7月豪雨相当の降雨に対し床上浸水を解消するため、河道掘削や排水機場の整備、雨水幹線・雨水ポンプ場整備を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、平成7年7月豪雨相当の降雨に対しても床上浸水の解消に向けて引き続き河道掘削等を実施。あわせて逃げ遅れゼロを目指した、浸水想定区域の指定・公表や危険箇所の周知、危機管理型水位計および河川監視カメラの設置等、的確な避難行動につながるようソフト対策の充実を図る。

■事業規模  
河川対策（約78億円）  
下水道対策（約159億円）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	排水機場ポンプ増設		河川改修(手城川)
		福山市	河川改修(谷地川)		
	③内水氾濫対策	福山市	雨水排水施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	福山市			雨水貯留施設の浚渫
		福山市			貯留施設の低水位管理等
	⑤山地の保水機能の向上	広島県			森林整備, 治山事業
⑥土砂流出対策	広島県		砂防堰堤等の整備		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	福山市	防災指針策定		立地適正化計画の策定・運用
		福山市			浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	福山市, (広島県)	洪水ハザードマップ作成		出前講座等にて周知
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	福山市		内水ハザードマップ作成	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進
	⑩防災体制の強化	広島県, 福山市			関係機関との各種連携

気候変動を踏まえた  
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていること、黒瀬川流域において市街化が進み土地利用形態が大きく変化していること等を踏まえ、流域の関係者が協働して総合的な治水対策を実施することで浸水被害の解消を図る。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

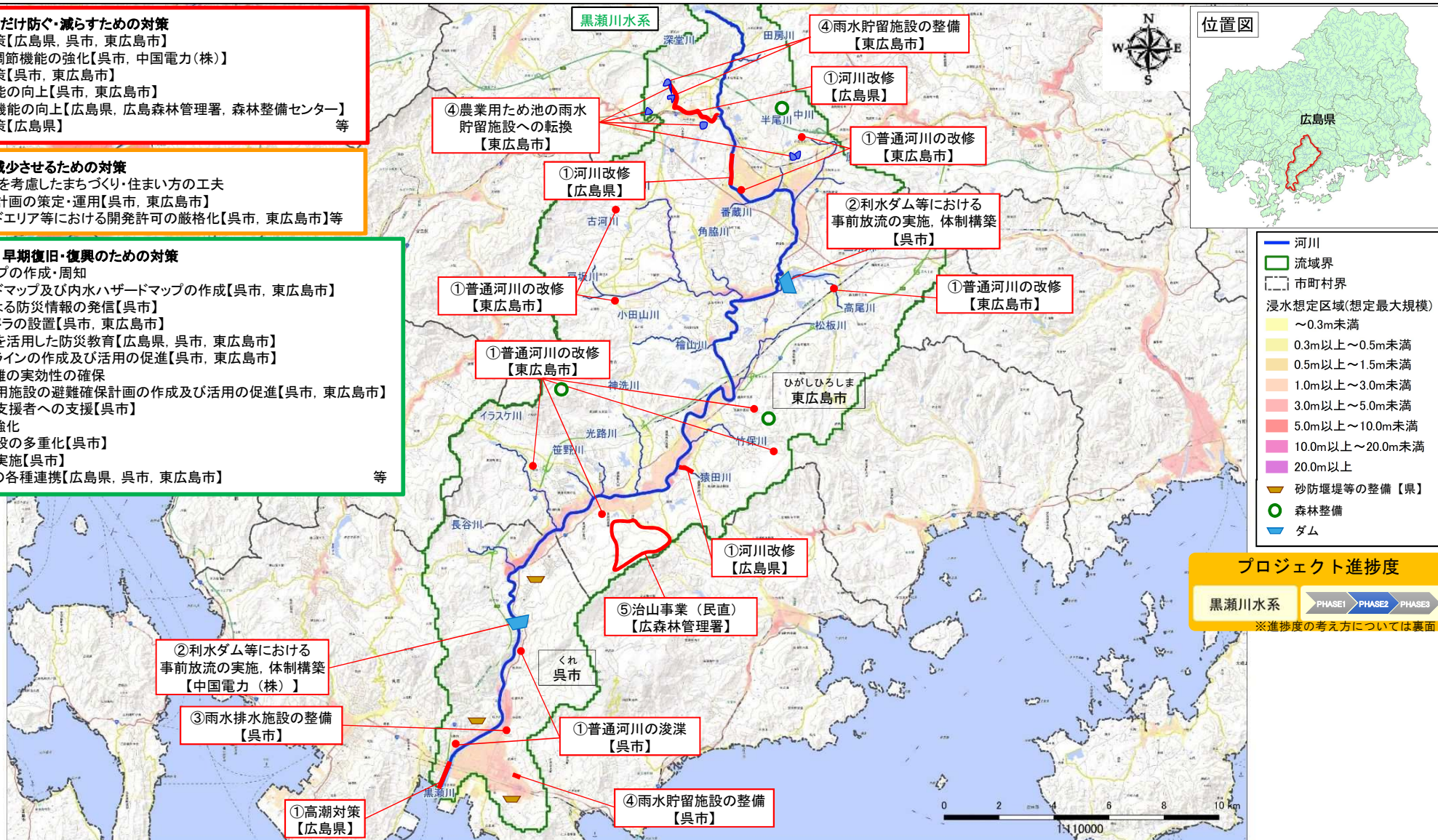
- ①洪水氾濫対策【広島県、呉市、東広島市】
- ②ダムでの洪水調節機能の強化【呉市、中国電力(株)】
- ③内水氾濫対策【呉市、東広島市】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市、東広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、広島森林管理署、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
  - ・立地適正化計画の策定・運用【呉市、東広島市】
  - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【呉市、東広島市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
  - ・洪水ハザードマップ及び内水ハザードマップの作成【呉市、東広島市】
  - ・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
  - ・河川監視カメラの設置【呉市、東広島市】
  - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市、東広島市】
  - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市、東広島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市、東広島市】
  - ・避難行動要支援者への支援【呉市】
- ⑩防災体制の強化
  - ・情報伝達手段の多重化【呉市】
  - ・水防訓練の実施【呉市】
  - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市、東広島市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 黒瀬川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	高潮対策		
		呉市, 東広島市	河川改修		
	②ダムの洪水調節機能の強化	呉市, 中国電力(株)	河道掘削【東広島市】・浚渫【呉市, 東広島市】		
		呉市, 東広島市	利水ダム等における事前放流の実施, 体制構築(三永ダム, 二級ダム)		
	③内水氾濫対策	呉市, 東広島市	雨水排水施設の整備【呉市, 東広島市】 雨水排水施設の長寿命化, 耐水化【呉市】		
		呉市	農業水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市, 東広島市	雨水貯留施設の整備【呉市, 東広島市】		
東広島市		農地等の保全			
東広島市		貯留施設の低水位管理等			
東広島市		農業用ため池の雨水貯留施設への転換			
⑤山地の保水機能の向上	広島県, 広島森林管理署, 森林整備センター	森林整備, 治山事業			
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市, 東広島市	防災指針策定		
		呉市, 東広島市	立地適正化計画の策定・運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市, 東広島市, (広島県)	【東広島市】 【呉市】		
		呉市, 東広島市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市, 東広島市	洪水ハザードマップ作成【呉市, 東広島市】		
		呉市, 東広島市	内水ハザードマップ作成【呉市】		
⑩防災体制の強化	広島県, 呉市, 東広島市	内水ハザードマップ作成済【東広島市(西条, 寺家排水区)】			
			要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
			出前講座等にて周知		
			関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえた、  
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

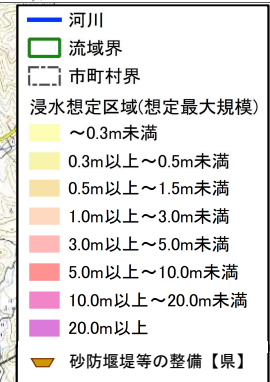
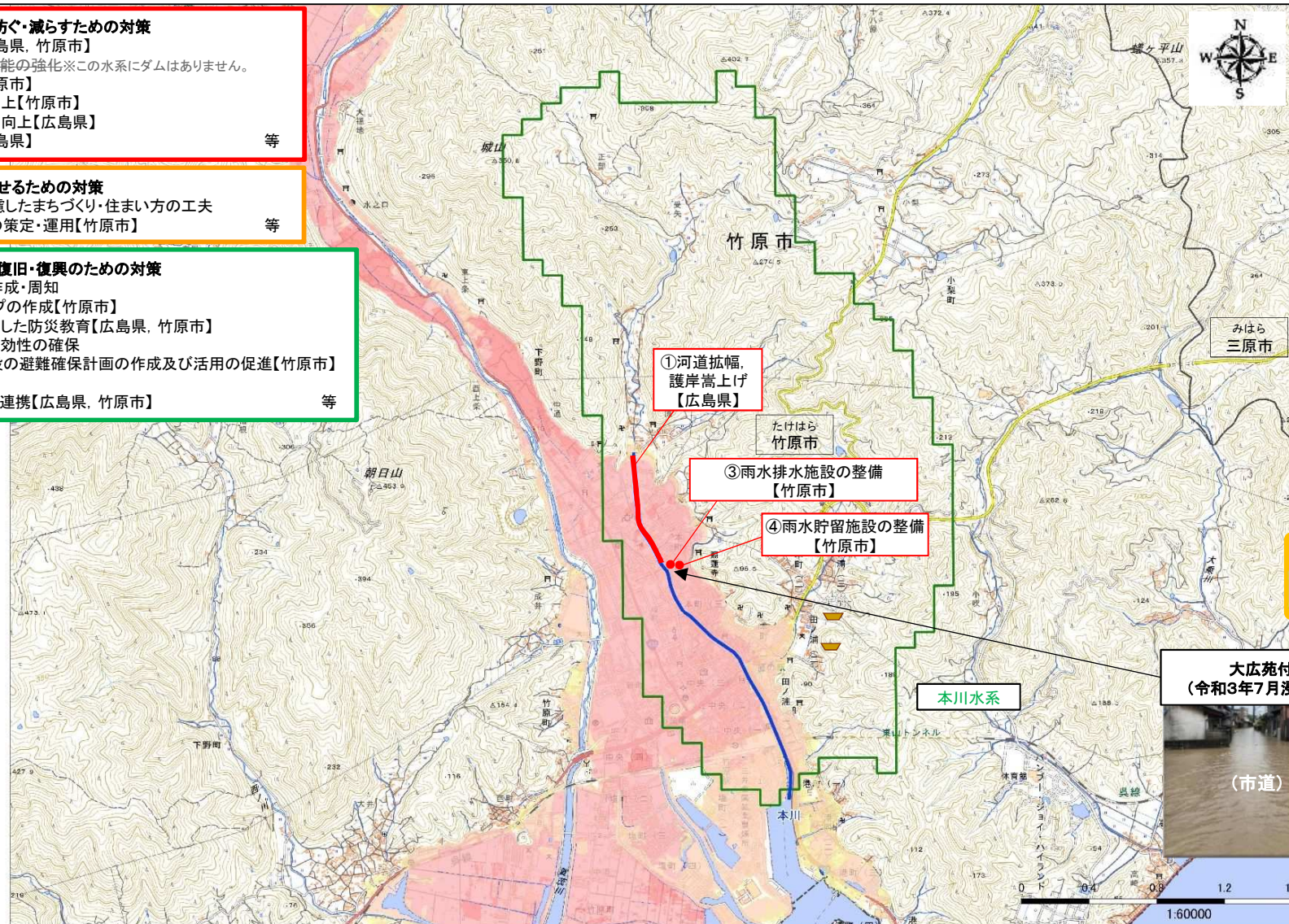
- 平成30年7月豪雨をはじめとして、近年、浸水被害が頻発している本川水系では、平成30年7月豪雨を目標とする整備計画の実施に加えて、特定都市河川浸水被害対策法に基づく対策等を推進していくことで、流域における浸水被害の解消を図る。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ①洪水氾濫対策【広島県、竹原市】
  - ②ダム等の洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
  - ③内水氾濫対策【竹原市】
  - ④雨水貯留機能の向上【竹原市】
  - ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
  - ⑥土砂流出対策【広島県】

- 被害対象を減少させるための対策
- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
  - ・立地適正化計画の策定・運用【竹原市】

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ⑧ハザードマップの作成・周知
    - ・洪水ハザードマップの作成【竹原市】
    - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、竹原市】
  - ⑨高齢者等避難の実効性の確保
    - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【竹原市】
  - ⑩防災体制の強化
    - ・関係機関との各種連携【広島県、竹原市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 本川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨相当の洪水から床上浸水被害を解消するため、河道掘削や土砂流出対策等の治水対策を実施。
- 【中期・中長期】平成30年7月豪雨相当の洪水を安全に流下させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河道拡幅、護岸嵩上げ(本川)		
		竹原市	普通河川の改修、浚渫		
	③内水氾濫対策	竹原市	雨水排水施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	竹原市	雨水貯留施設の整備		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
	⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	竹原市	防災指針策定	立地適正化計画の策定・運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	竹原市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成(未定)		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	竹原市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、竹原市	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



# 永慶寺川水系・御手洗川水系・可愛川水系流域治水プロジェクト

二級水系  
流域治水プロジェクト

【位置図】（案）

広島県  
西ブロック

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、廿日市市】
- ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【廿日市市】
- ④雨水貯留機能の向上
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県、国】

等

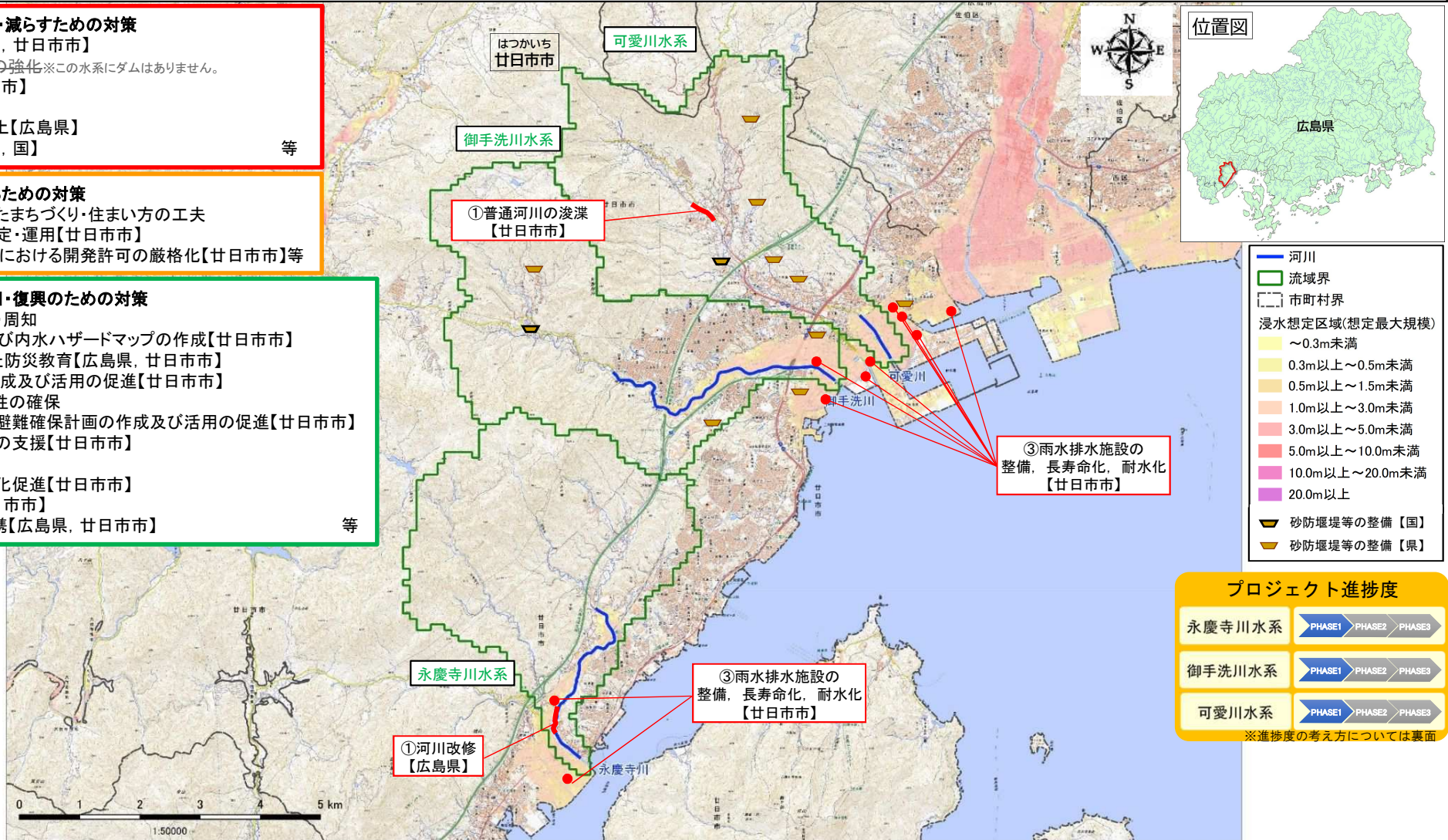
## ■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
  - ・立地適正化計画の策定・運用【廿日市市】
  - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【廿日市市】等

## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
  - ・洪水ハザードマップ及び内水ハザードマップの作成【廿日市市】
  - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、廿日市市】
  - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【廿日市市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【廿日市市】
  - ・避難行動要支援者への支援【廿日市市】
- ⑩防災体制の強化
  - ・情報伝達手段の多重化促進【廿日市市】
  - ・水防訓練の実施【廿日市市】
  - ・関係機関との各種連携【広島県、廿日市市】

等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 永慶寺川水系・御手洗川水系・可愛川水系流域治水プロジェクト

二級水系  
流域治水プロジェクト

【ロードマップ】（案）

広島県  
西ブロック

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 永慶寺川・御手洗川・可愛川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修		
		廿日市市	普通河川の改修		
	③内水氾濫対策	廿日市市	雨水排水施設の耐水化		雨水排水施設の整備, 長寿命化
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備, 治山事業		
	⑥土砂流出対策	広島県, 国	砂防堰堤等の整備	防災指針策定	
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	廿日市市	立地適正化計画の策定・運用		
		廿日市市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化	運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	廿日市市, (広島県)	洪水ハザードマップ作成	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	廿日市市	内水ハザードマップ作成	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進	
	⑩防災体制の強化	広島県, 廿日市市	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 永田川水系・小鹿野川水系・田中川水系流域治水プロジェクト

二級水系  
流域治水プロジェクト

【位置図】（案）

広島県  
西ブロック

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知，出前講座の実施などにより，確実な避難や経済被害の軽減，早期復旧復興に努める。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策
- ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【江田島市】
- ④雨水貯留機能の向上
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策

等

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫

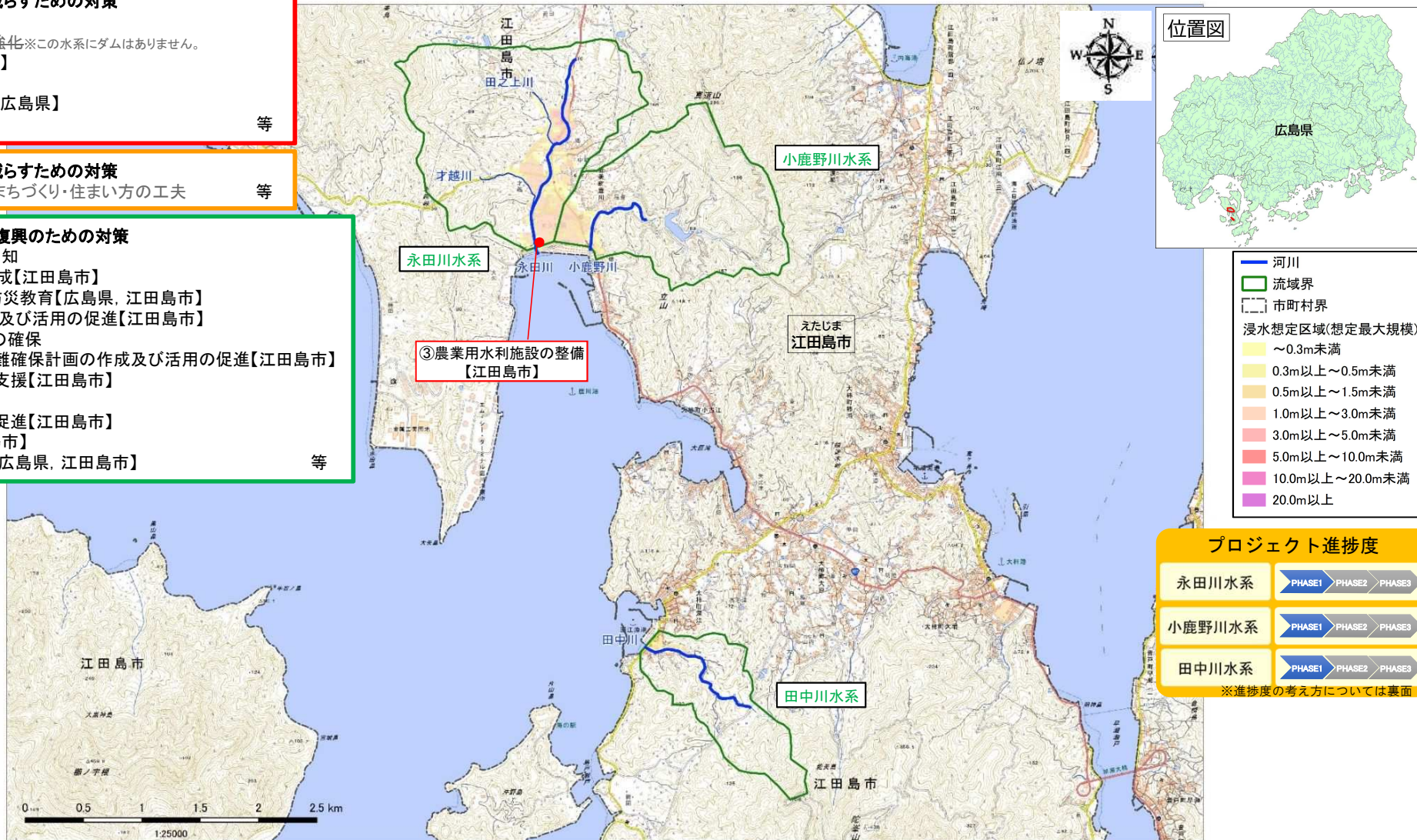
等

■ 被害の軽減，早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
  - ・洪水ハザードマップの作成【江田島市】
  - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県，江田島市】
  - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【江田島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【江田島市】
  - ・避難行動要支援者への支援【江田島市】
- ⑩防災体制の強化
  - ・情報伝達手段の多重化促進【江田島市】
  - ・水防訓練の実施【江田島市】
  - ・関係機関との各種連携【広島県，江田島市】

等

③農業水利施設の整備  
【江田島市】



プロジェクト進捗度

永田川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
小鹿野川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
田中川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3

※進捗度の考え方については裏面

※具体的な対策内容については，今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 永田川・小鹿野川・田中川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	③内水氾濫対策	江田島市	農業水利施設の整備		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県		森林整備, 治山事業	
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	江田島市, (広島県)	洪水ハザードマップ作成		出前講座等にて周知
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	江田島市		要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進	
	⑩関係機関との各種連携	広島県, 江田島市		関係機関との各種連携	



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

プロジェクト進捗度の考え方

- ▶ PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- ▶ PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- ▶ PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

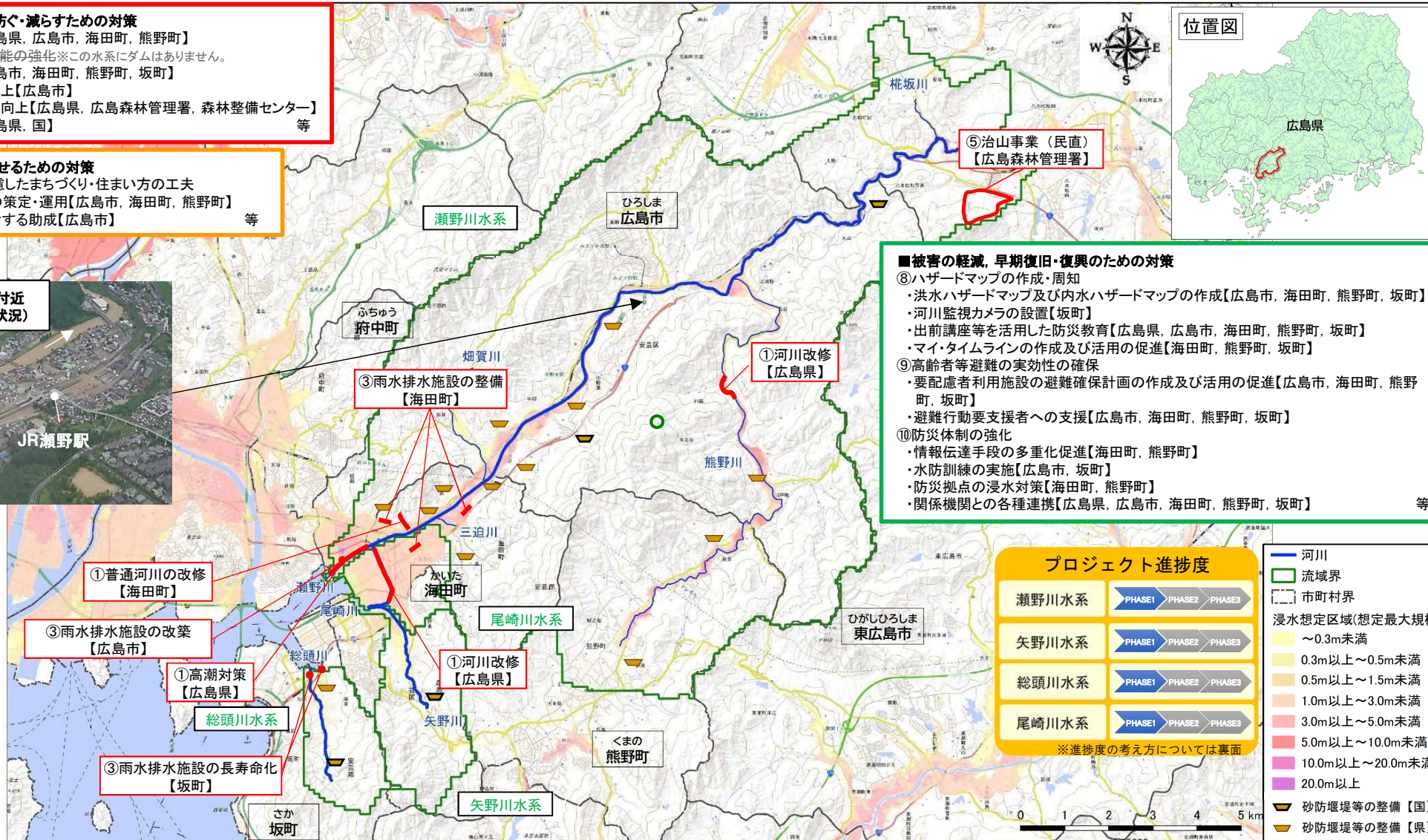
■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、広島市、海田町、熊野町】
- ②ダム等の洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【広島市、海田町、熊野町、坂町】
- ④雨水貯留機能の向上【広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、広島森林管理署、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策【広島県、国】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
  - ・立地適正化計画の策定・運用【広島市、海田町、熊野町】
  - ・止水板の設置に対する助成【広島市】

広島市安芸区瀬野付近  
(平成30年7月浸水状況)



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ⑧ハザードマップの作成・周知
    - ・洪水ハザードマップ及び内水ハザードマップの作成【広島市、海田町、熊野町、坂町】
    - ・河川監視カメラの設置【坂町】
    - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、広島市、海田町、熊野町、坂町】
    - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【海田町、熊野町、坂町】
  - ⑨高齢者等避難の実効性の確保
    - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【広島市、海田町、熊野町、坂町】
    - ・避難行動要支援者への支援【広島市、海田町、熊野町、坂町】
  - ⑩防災体制の強化
    - ・情報伝達手段の多重化促進【海田町、熊野町】
    - ・水防訓練の実施【広島市、坂町】
    - ・防災拠点の浸水対策【海田町、熊野町】
    - ・関係機関との各種連携【広島県、広島市、海田町、熊野町、坂町】

**プロジェクト進捗度**

瀬野川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
矢野川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
総頭川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
尾崎川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3

※進捗度の考え方については裏面

- 河川
- 流域界
- 市町村界
- 浸水想定区域(想定最大規模)
  - ～0.3m未満
  - 0.3m以上～0.5m未満
  - 0.5m以上～1.5m未満
  - 1.0m以上～3.0m未満
  - 3.0m以上～5.0m未満
  - 5.0m以上～10.0m未満
  - 10.0m以上～20.0m未満
  - 20.0m以上
- 砂防堰堤等の整備【国】
- 砂防堰堤等の整備【県】
- 森林整備

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 瀬野川・矢野川・総頭川・尾崎川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。  
【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。  
【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(熊野川) → 高潮対策(瀬野川)・河川改修(尾崎川)		
		広島市, 海田町, 熊野町	普通河川の改修【熊野町, 海田町】, 浚渫【熊野町】 → 普通河川の改修, 浚渫【広島市】		
	③内水氾濫対策	広島市, 海田町, 坂町	雨水排水施設の整備【海田町】, 改築【広島市(船越地区)], 耐水化【坂町】 → 雨水排水施設の耐水化【広島市】 → 雨水排水施設の長寿命化【坂町】		
		熊野町	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	広島市	雨水貯留施設の浚渫		
		広島市	農地等の保全		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県, 広島森林管理署, 森林整備センター	森林整備, 治山事業		
⑥土砂流出対策	広島県, 国	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	広島市, 海田町, 熊野町	防災指針策定【海田町】	防災指針策定【広島市, 熊野町】	立地適正化計画の策定・運用
		広島市	洪水及び内水ハザードマップ作成【広島市, 坂町(未定)】, 洪水ハザードマップ作成【熊野町】 → 止水板の設置に対する助成(内水浸水が対象)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	広島市, 海田町, 坂町, 熊野町, (広島県)	出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	広島市, 海田町, 熊野町, 坂町	洪水及び内水ハザードマップ作成済【海田町】	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進	
	⑩防災体制の強化	広島県, 広島市, 海田町, 熊野町, 坂町	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえた  
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

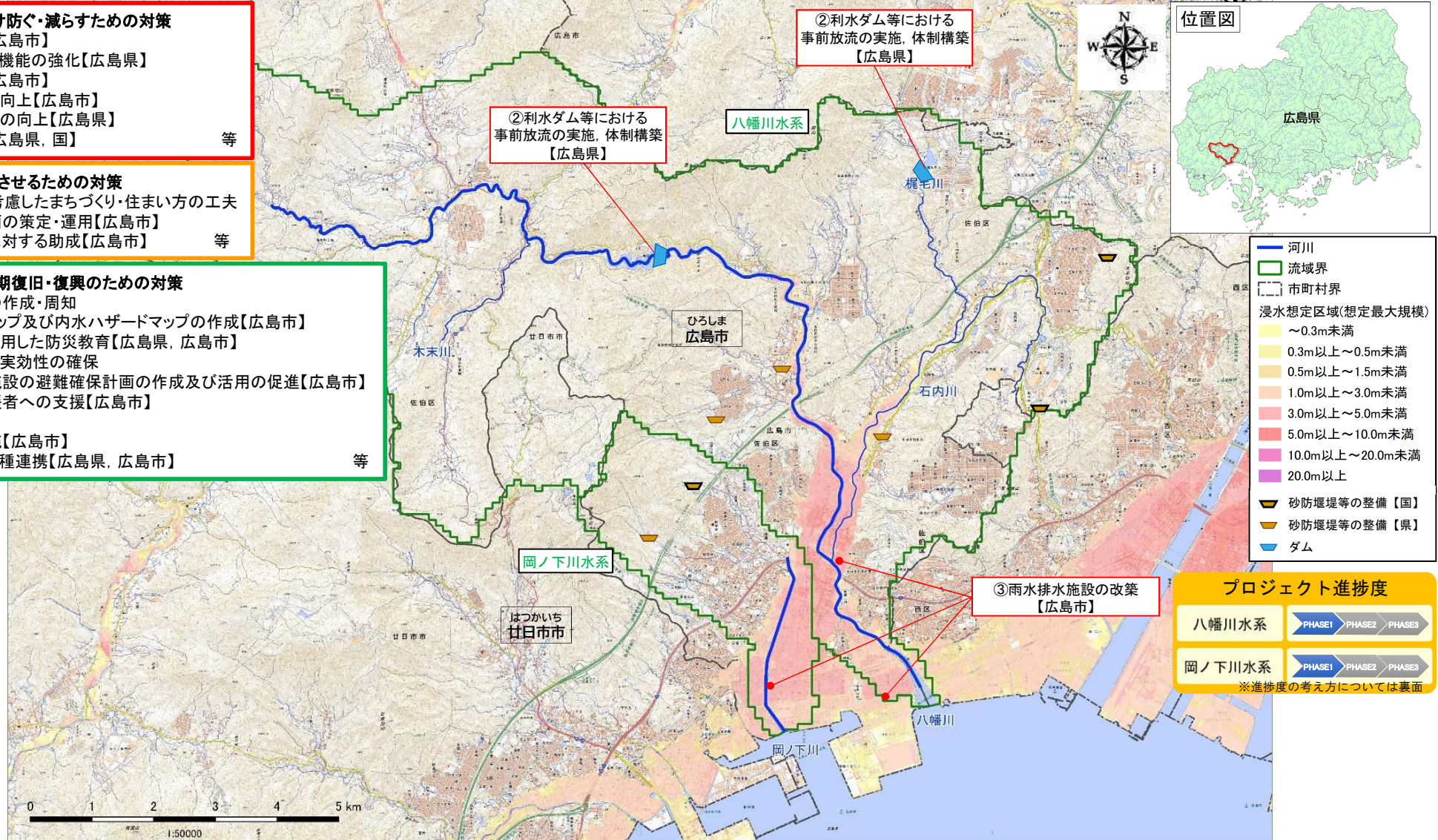
- ①洪水氾濫対策【広島市】
- ②ダム洪水調節機能の強化【広島県】
- ③内水氾濫対策【広島市】
- ④雨水貯留機能の向上【広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県、国】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫・立地適正化計画の策定・運用【広島市】
- ・止水板の設置に対する助成【広島市】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
  - ・洪水ハザードマップ及び内水ハザードマップの作成【広島市】
  - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、広島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【広島市】
  - ・避難行動要支援者への支援【広島市】
- ⑩防災体制の強化
  - ・水防訓練の実施【広島市】
  - ・関係機関との各種連携【広島県、広島市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 八幡川・岡ノ下川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島市	普通河川の改修、浚渫		
	②ダム洪水調節機能の強化	広島県	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(魚切ダム、梶毛ダム)		
	③内水氾濫対策	広島市	雨水排水施設の改築(八幡、五日市地区)	雨水排水施設の耐水化	
	④雨水貯留機能の向上	広島市	雨水貯留施設の浚渫		
		広島市	農地等の保全		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	広島市	防災指針策定	立地適正化計画の策定・運用	
		広島市	止水板の設置に対する助成(内水浸水が対象)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	広島市、(広島県)	洪水及び内水ハザードマップ作成【広島市】	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	広島市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、広島市	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



二級水系  
流域治水プロジェクト

高田川水系・大長川水系・原田川水系・原下川水系  
・小原川水系流域治水プロジェクト【位置図】（案）  
～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

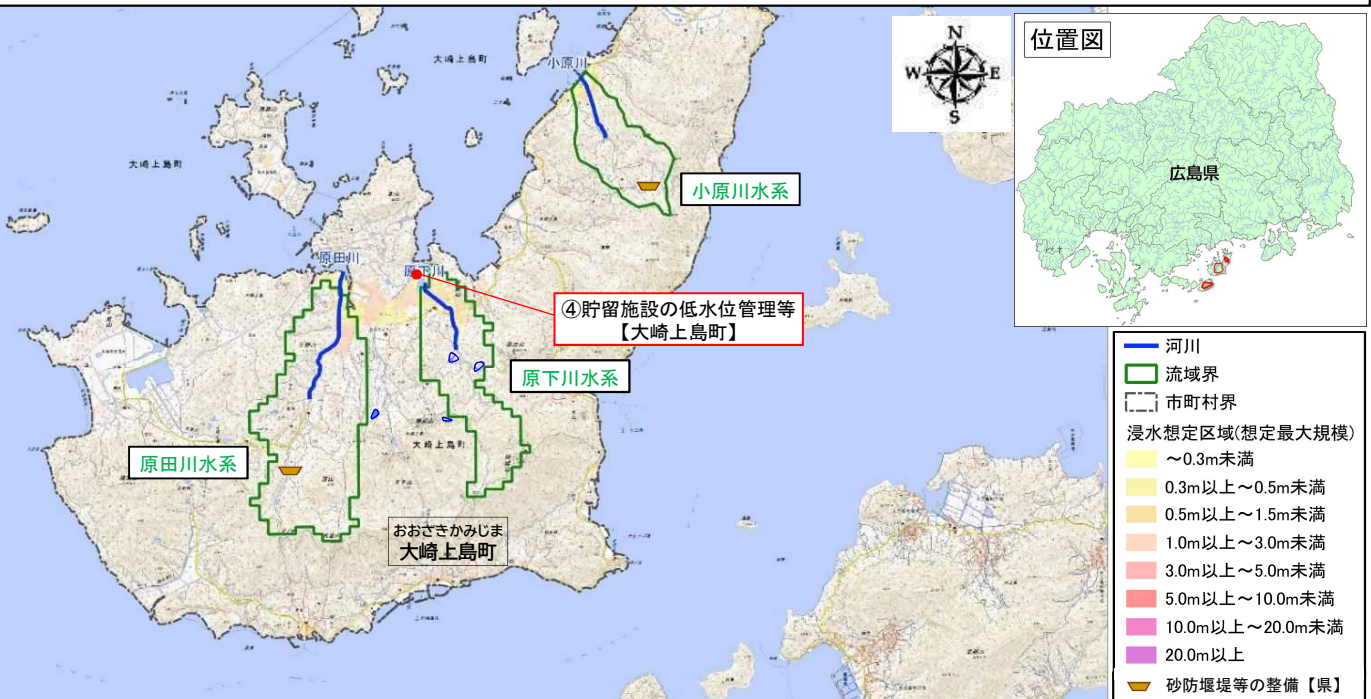
広島県  
中央ブロック

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。  
○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。  
○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知，出前講座の実施などにより，確実な避難や経済被害の軽減，早期復旧復興に努める。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ①洪水氾濫対策
  - ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
  - ③内水氾濫対策【呉市】
  - ④雨水貯留機能の向上【呉市，大崎上島町】
  - ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
  - ⑥土砂流出対策【広島県】
- 等

- 被害対象を減少させるための対策
- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
- 等

- 被害の軽減，早期復旧・復興のための対策
- ⑧ハザードマップの作成・周知
    - ・洪水ハザードマップの作成【呉市】
    - ・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
    - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県，呉市】
    - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市】
  - ⑨高齢者等避難の実効性の確保
    - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市】
    - ・避難行動要支援者への支援【呉市，大崎上島町】
  - ⑩防災体制の強化
    - ・情報伝達手段の多重化促進【呉市】
    - ・防災拠点の浸水対策【大崎上島町】
    - ・関係機関との各種連携【広島県，呉市，大崎上島町】
- 等



プロジェクト進捗度	
高田川水系	▶ PHASE1 ▶ PHASE2 ▶ PHASE3
大長川水系	▶ PHASE1 ▶ PHASE2 ▶ PHASE3
原田川水系	▶ PHASE1 ▶ PHASE2 ▶ PHASE3
原下川水系	▶ PHASE1 ▶ PHASE2 ▶ PHASE3
小原川水系	▶ PHASE1 ▶ PHASE2 ▶ PHASE3

※進捗度の考え方については裏面

※具体的な対策内容については，今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 高田川・大長川・原田川・原下川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。  
【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。  
【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	③内水氾濫対策	呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市, 大崎上島町	農地等の保全		
		大崎上島町	貯留施設の低水位管理等		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備, 治山事業		
	⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市, (広島県)	洪水ハザードマップ作成【呉市】	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市		要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進	
	⑩防災体制の強化	広島県, 呉市, 大崎上島町		関係機関との各種連携	



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

# 沼田川水系・和久原川水系・西野川水系流域治水プロジェクト

二級水系  
流域治水プロジェクト

【位置図】（案）

広島県  
中央ブロック

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

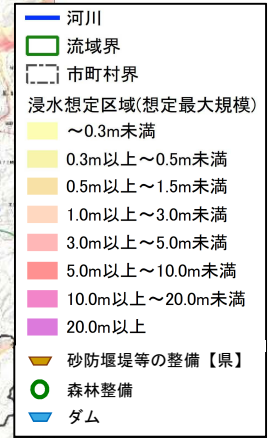
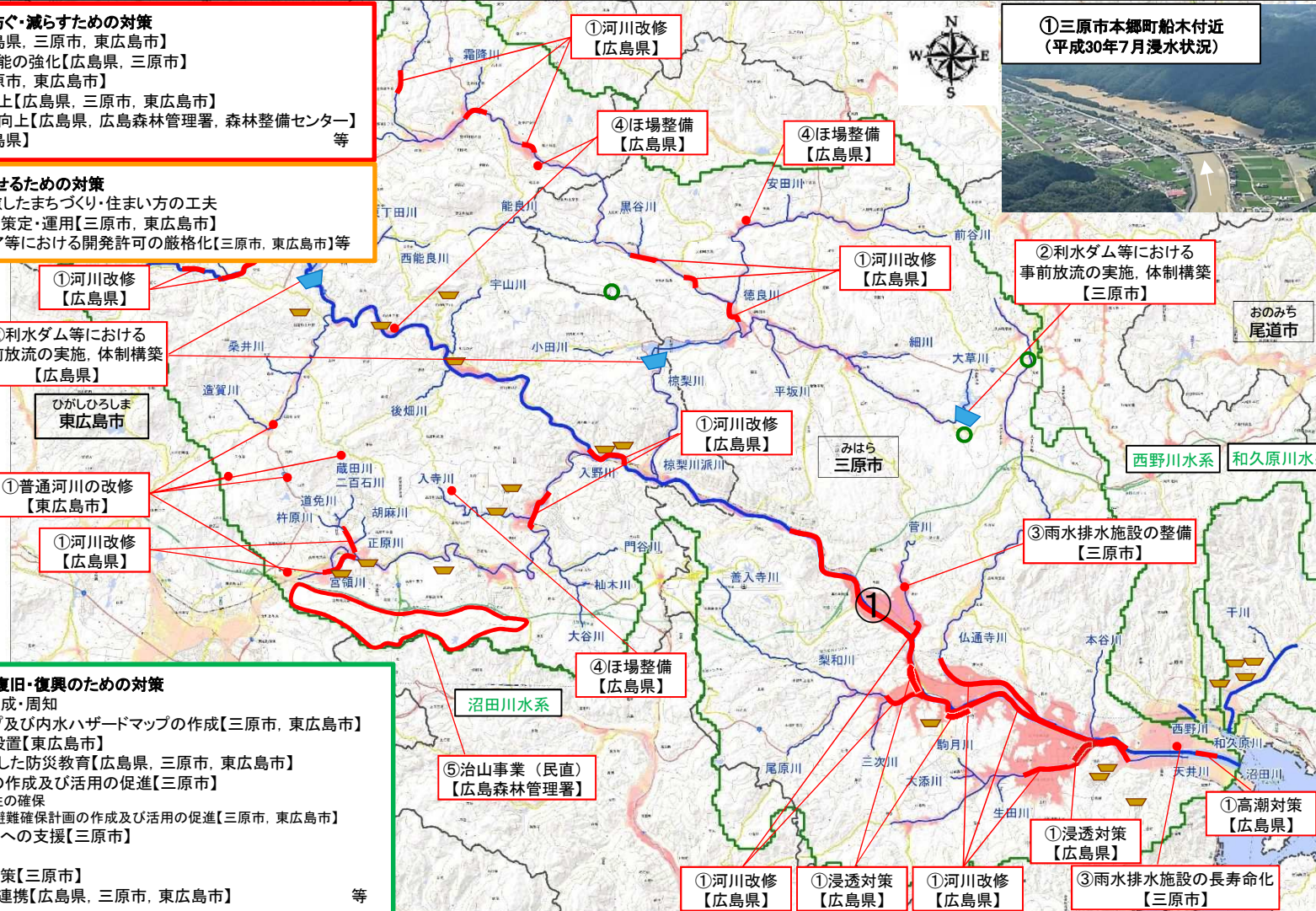
- ①洪水氾濫対策【広島県、三原市、東広島市】
- ②ダム等の洪水調節機能の強化【広島県、三原市】
- ③内水氾濫対策【三原市、東広島市】
- ④雨水貯留機能の向上【広島県、三原市、東広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、広島森林管理署、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
  - ・立地適正化計画の策定・運用【三原市、東広島市】
  - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【三原市、東広島市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
  - ・洪水ハザードマップ及び内水ハザードマップの作成【三原市、東広島市】
  - ・河川監視カメラの設置【東広島市】
  - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、三原市、東広島市】
  - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【三原市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【三原市、東広島市】
  - ・避難行動要支援者への支援【三原市】
- ⑩防災体制の強化
  - ・防災拠点の浸水対策【三原市】
  - ・関係機関との各種連携【広島県、三原市、東広島市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 沼田川水系・和久原川水系・西野川水系流域治水プロジェクト

二級水系  
流域治水プロジェクト

【ロードマップ】（案）

広島県  
中央ブロック

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 沼田川・和久原川・西野川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(天井川, 仏通寺川, 菅川, 梨和川)・堤防強化, 高潮対策(沼田川)	河川改修(杵原川, 入野川, 沼田川, 棕梨川)・浸透対策(沼田川)	
		三原市, 東広島市	準用河川・普通河川の改修【三原市】	普通河川の改修, 浚渫【東広島市】	
	②ダムの洪水調節機能の強化	広島県, 三原市	利水ダム等における事前放流の実施, 体制構築(三河ダム, 棕梨ダム, 福富ダム)		
	③内水氾濫対策	三原市, 東広島市	雨水排水施設の整備, 長寿命化, 耐水化【三原市】	雨水排水施設の整備【東広島市】	
	④雨水貯留機能の向上	三原市, 東広島市	農地等の保全		
		広島県	ほ場整備(安宿地区, 戸野地区, 深見地区)	ほ場整備(東高屋地区)	
	東広島市	貯留施設の低水位管理等			
⑤山地の保水機能の向上	広島県, 広島森林管理署, 森林整備センター	森林整備, 治山事業			
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	東広島市	防災指針策定(東広島市)	立地適正化計画の策定・運用	
		三原市, 東広島市	浸水ハザードエリア等における 洪水ハザードマップ作成【三原市, 東広島市】	運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	三原市, 東広島市, (広島県)	出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	三原市, 東広島市	内水ハザードマップ作成【三原市】	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進	
	⑩防災体制の強化	広島県, 三原市, 東広島市	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえた  
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 二河川水系・堺川水系・大谷川水系流域治水プロジェクト

二級水系  
流域治水プロジェクト

【位置図】（案）

広島県  
中央ブロック

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、熊野町】
- ②ダムでの洪水調節機能の強化【呉市】
- ③内水氾濫対策【呉市、熊野町】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

等

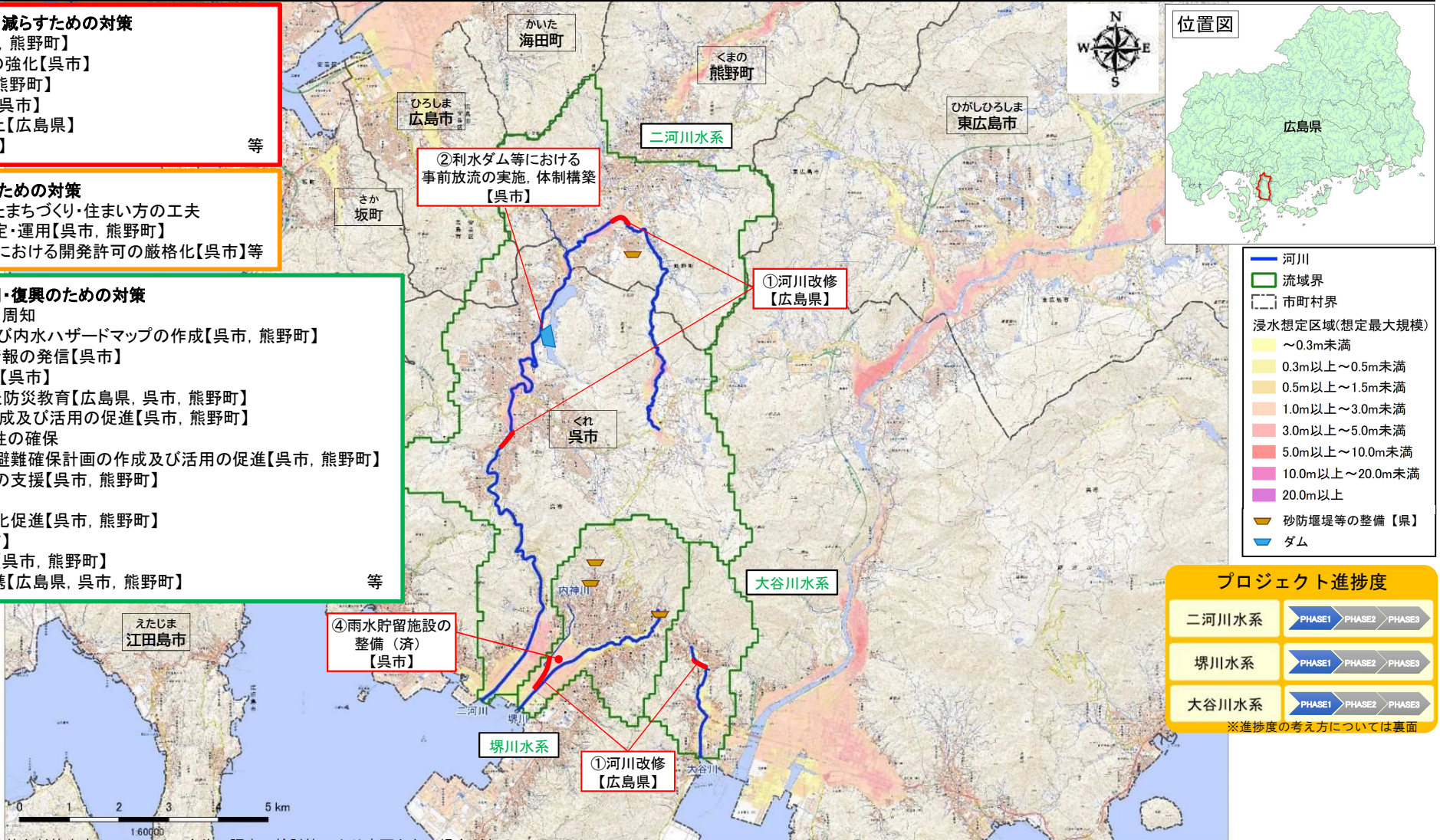
## ■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
  - ・立地適正化計画の策定・運用【呉市、熊野町】
  - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【呉市】等

## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
  - ・洪水ハザードマップ及び内水ハザードマップの作成【呉市、熊野町】
  - ・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
  - ・河川監視カメラの設置【呉市】
  - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市、熊野町】
  - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市、熊野町】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市、熊野町】
  - ・避難行動要支援者への支援【呉市、熊野町】
- ⑩防災体制の強化
  - ・情報伝達手段の多重化促進【呉市、熊野町】
  - ・水防訓練の実施【呉市】
  - ・防災拠点の浸水対策【呉市、熊野町】
  - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市、熊野町】

等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 二河川水系・堺川水系・大谷川水系流域治水プロジェクト

二級水系  
流域治水プロジェクト

【ロードマップ】（案）

広島県  
中央ブロック

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 二河川・堺川・大谷川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(二河川, 大谷川) → 河川改修(二河川, 堺川)		
		熊野町	普通河川の改修, 浚渫		
	②ダム洪水調節機能の強化	呉市	利水ダム等における事前放流の実施, 体制構築(本庄ダム)		
	③内水氾濫対策	呉市	雨水排水施設の長寿命化(二河川水系, 堺川水系), 整備・耐水化(大谷川水系)		
		呉市, 熊野町	農業用水利施設の整備【呉市】 → 農業用水利施設の整備【熊野町】		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備, 治山事業		
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市, 熊野町	防災指針策定 → 立地適正化計画の策定・運用		
		呉市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化 → 運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市, 熊野町, (広島県)	洪水ハザードマップ作成【呉市, 熊野町】 → 出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市, 熊野町	内水ハザードマップ作成【呉市】 → 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県, 呉市, 熊野町	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

二級水系  
流域治水プロジェクト

木谷郷川水系・賀茂川水系・高野川水系・蛇道川水系・三津大川水系

流域治水プロジェクト【位置図】（案）

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

広島県  
中央ブロック

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。

○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。

○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。

○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

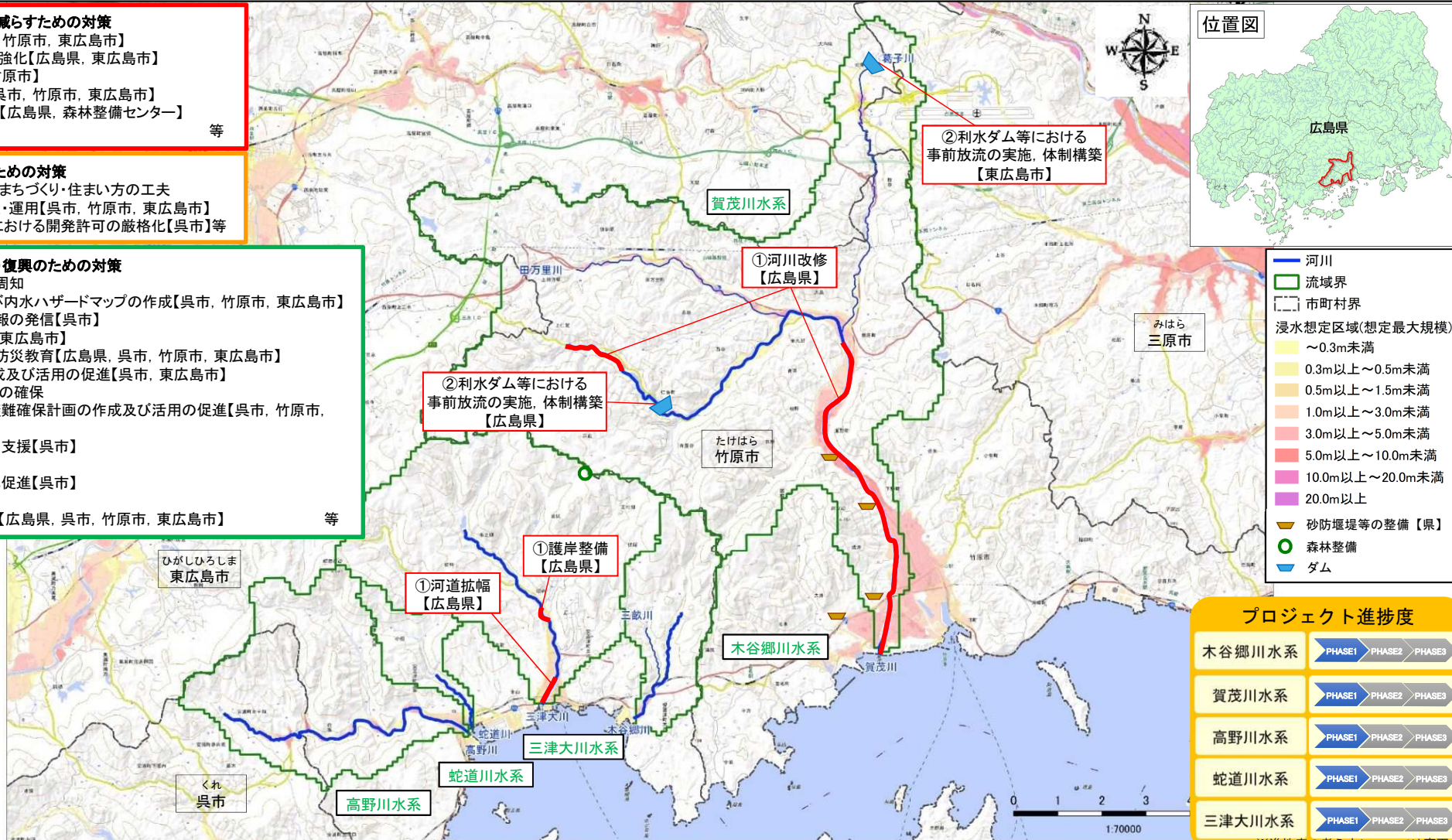
- ①洪水氾濫対策【広島県、竹原市、東広島市】
- ②ダム洪水調節機能の強化【広島県、東広島市】
- ③内水氾濫対策【呉市、竹原市】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市、竹原市、東広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
  - ・立地適正化計画の策定・運用【呉市、竹原市、東広島市】
  - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【呉市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
  - ・洪水ハザードマップ及び内水ハザードマップの作成【呉市、竹原市、東広島市】
  - ・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
  - ・河川監視カメラの設置【東広島市】
  - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市、竹原市、東広島市】
  - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市、東広島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市、竹原市、東広島市】
  - ・避難行動要支援者への支援【呉市】
- ⑩防災体制の強化
  - ・情報伝達手段の多重化促進【呉市】
  - ・水防訓練の実施【呉市】
  - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市、竹原市、東広島市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 木谷郷川・賀茂川・高野川・蛇道川・三津大川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(賀茂川) 河道拡幅, 護岸整備(三津大川)		
		竹原市, 東広島市	普通河川の改修【竹原市(在屋川)】 普通河川の改修, 浚渫【竹原市, 東広島市】		
	②ダム等の事前放流等の体制構築, 実施	広島県, 東広島市	利水ダム等における事前放流の実施, 体制構築(千丈ヶ原ダム, 仁賀ダム)		
	③内水氾濫対策	竹原市	雨水排水施設の整備【竹原市(賀茂川水系)】		
		東広島市	貯留施設の低水位管理等		
		呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市, 竹原市, 東広島市	農地等の保全		
⑤山地の保水機能の向上	広島県, 森林整備センター	森林整備, 治山事業			
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市, 竹原市, 東広島市	防災指針策定 立地適正化計画の策定・運用		
		呉市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化 運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市, 竹原市, 東広島市, (広島県)	出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市, 竹原市, 東広島市	洪水ハザードマップ作成【呉市, 東広島市】 ※竹原市は未定 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県, 呉市, 竹原市, 東広島市	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

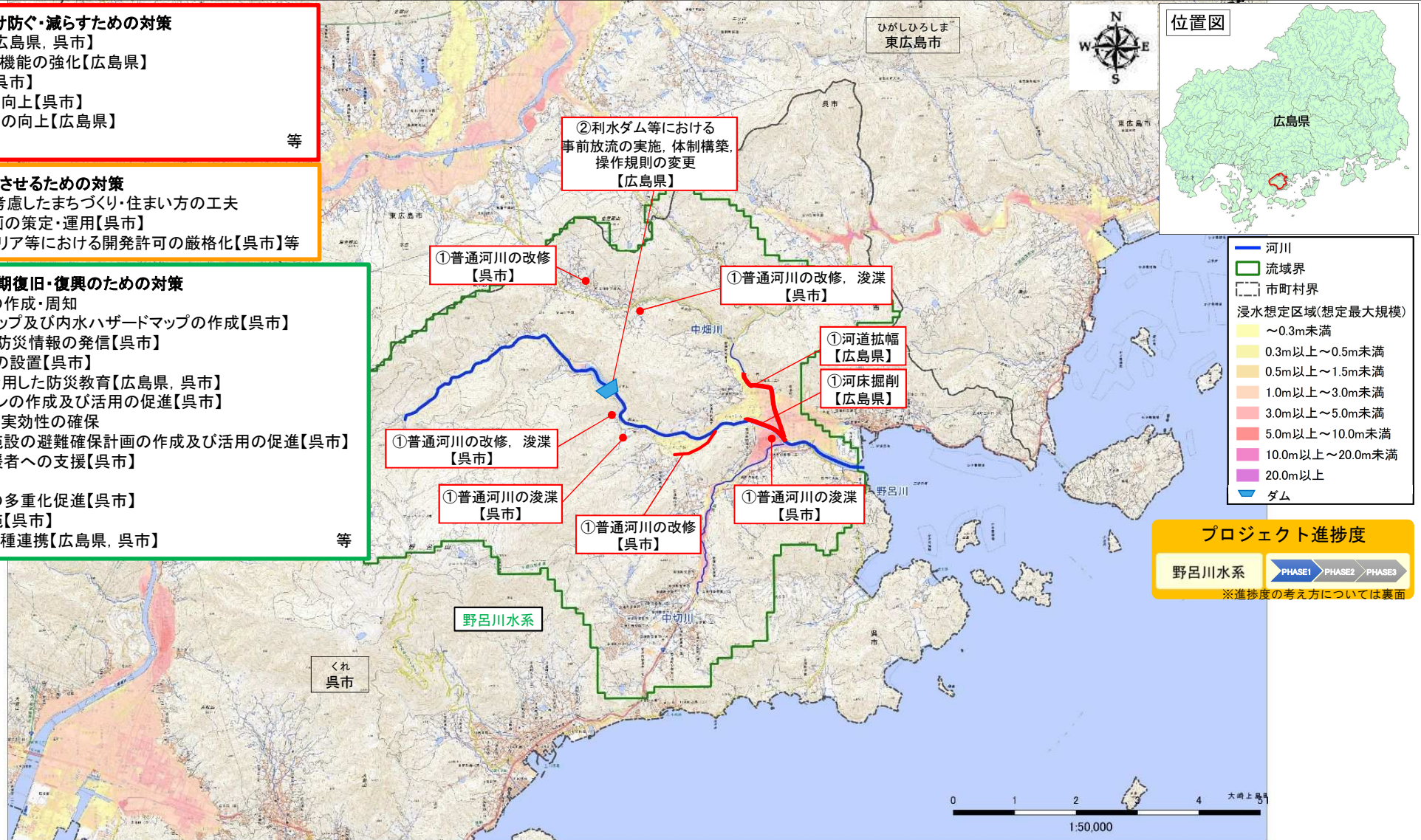
- ①洪水氾濫対策【広島県、呉市】
- ②ダム洪水調節機能の強化【広島県】
- ③内水氾濫対策【呉市】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まいの工夫
  - ・立地適正化計画の策定・運用【呉市】
  - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【呉市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
  - ・洪水ハザードマップ及び内水ハザードマップの作成【呉市】
  - ・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
  - ・河川監視カメラの設置【呉市】
  - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市】
  - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市】
  - ・避難行動要支援者への支援【呉市】
- ⑩防災体制の強化
  - ・情報伝達手段の多重化促進【呉市】
  - ・水防訓練の実施【呉市】
  - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 野呂川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河床掘削(野呂川)	河道拡幅(中畑川)	
	②ダムの洪水調節機能の強化	広島県	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(野呂川ダム)		
	③内水氾濫対策	呉市	操作規則の変更(野呂川ダム)	雨水排水施設の耐水化	
		呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市			農地等の保全
⑤山地の保水機能の向上	広島県			森林整備, 治山事業	
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市	防災指針策定	立地適正化計画の策定・運用	
		呉市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化	運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市, (広島県)	洪水ハザードマップ作成	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市	内水ハザードマップ作成	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進	
			⑩防災体制の強化	広島県, 呉市	関係機関との各種連携



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策
- ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策
- ④雨水貯留機能の向上【尾道市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、尾道市】
- ⑥土砂流出対策

等

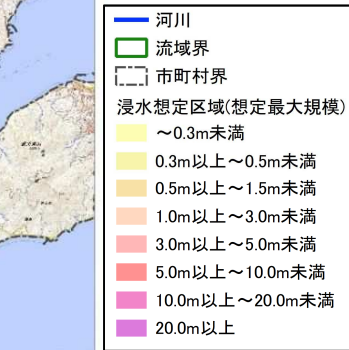
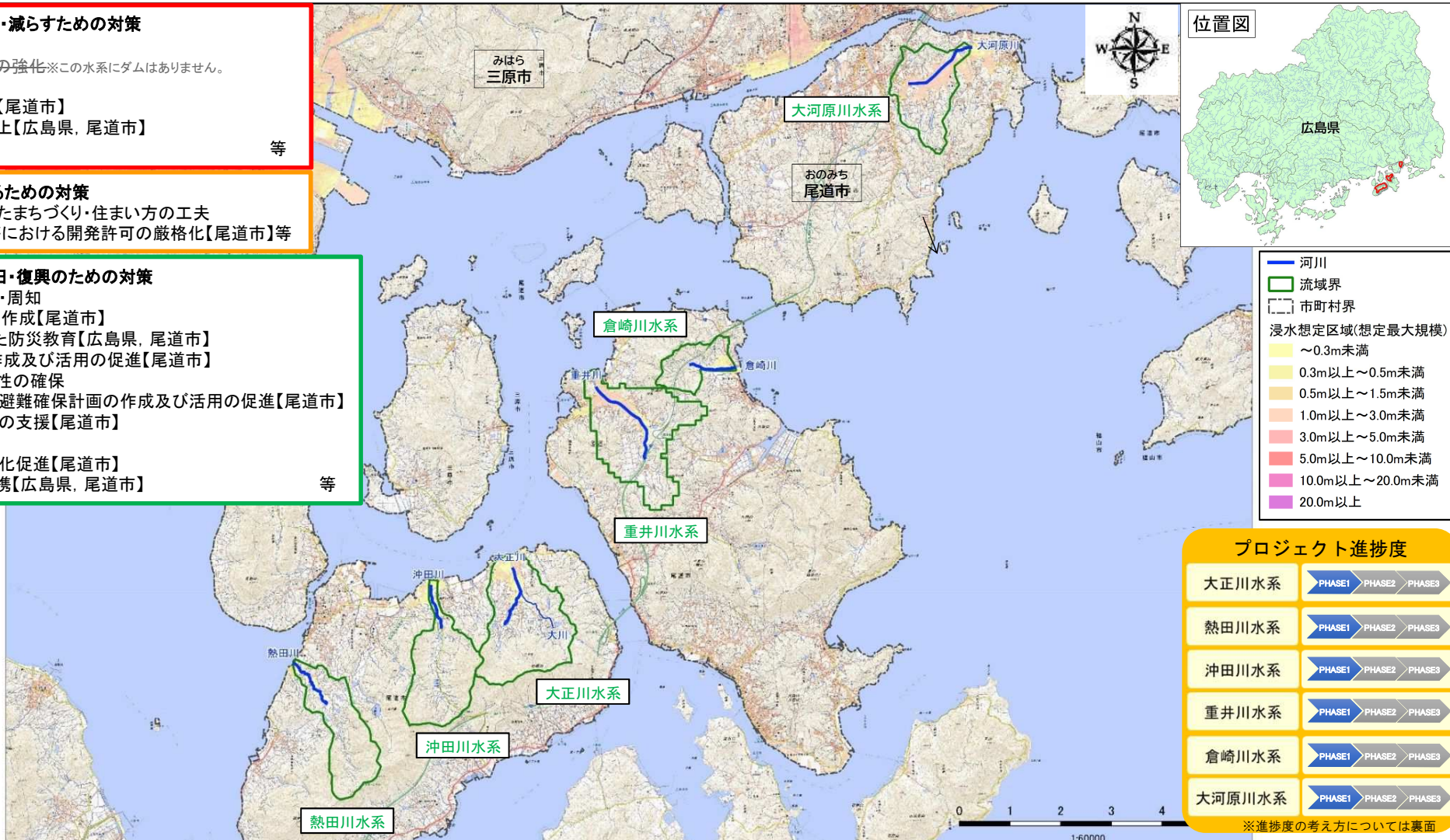
■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫  
・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【尾道市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知  
・洪水ハザードマップの作成【尾道市】  
・出前講座等を活用した防災教育【広島県、尾道市】  
・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【尾道市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保  
・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【尾道市】  
・避難行動要支援者への支援【尾道市】
- ⑩防災体制の強化  
・情報伝達手段の多重化促進【尾道市】  
・関係機関との各種連携【広島県、尾道市】

等



プロジェクト進捗度	
大正川水系	▶ PHASE1 ▶ PHASE2 ▶ PHASE3
熱田川水系	▶ PHASE1 ▶ PHASE2 ▶ PHASE3
沖田川水系	▶ PHASE1 ▶ PHASE2 ▶ PHASE3
重井川水系	▶ PHASE1 ▶ PHASE2 ▶ PHASE3
倉崎川水系	▶ PHASE1 ▶ PHASE2 ▶ PHASE3
大河原川水系	▶ PHASE1 ▶ PHASE2 ▶ PHASE3

※進捗度の考え方については裏面

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 大正川・熱田川・沖田川・重井川・倉崎川・大河原川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	④雨水貯留機能の向上	尾道市	農地等の保全		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県, 尾道市	森林整備, 治山事業		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	尾道市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	尾道市, (広島県)	洪水ハザードマップ作成	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	尾道市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県, 尾道市	関係機関との各種連携		



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

# 藤井川水系・栗原川水系・大田川水系流域治水プロジェクト

## 二級水系 流域治水プロジェクト

## 【位置図】（案）

広島県  
東ブロック

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

### ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、三原市、尾道市】
- ②ダム等の洪水調節機能の強化【藤井川沿岸土地改良区】
- ③内水氾濫対策【尾道市】
- ④雨水貯留機能の向上【三原市、尾道市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、尾道市、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策

### ■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
  - ・立地適正化計画の策定・運用【福山市】
  - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【尾道市、福山市】
  - ・止水板の設置補助【福山市】

### 止水板設置補助金制度

自宅や店舗等へ止水板の設置をお考えの方へ

最大 **50** 万円の補助が受けられます！

#### 止水板とは

玄関など建物出入口や、水の流入経路に取り付けることで、家中が浸水しにくくなります。大雨などにより道路等に水が溜まり、建物内中心部の流入を阻みます。入力の取り分けが簡単にできる特長があります。

#### 対象事業

- 止水板の購入
- 設置工事
- 設置工事（外壁の防水工事、土間コンクリート）

【問合せ先】 福山市上下水道供給管理課 対策サービス課  
〒752-8528 福山市宮原町1-1-1 電話：082-822-1111（受付時間：平日9時～17時）  
FAX：082-822-1115（受付時間：平日9時～17時）

### ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
  - ・洪水ハザードマップ及び内水ハザードマップの作成【三原市、尾道市、福山市】
  - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、三原市、尾道市】
  - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【三原市、尾道市、福山市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【三原市、尾道市、福山市】
  - ・避難行動要支援者への支援【三原市、尾道市】
- ⑩防災体制の強化
  - ・情報伝達手段の多重化促進【尾道市】
  - ・水防訓練の実施【福山市】
  - ・関係機関との各種連携【広島県、三原市、尾道市、福山市】

②利水ダム等における  
事前放流の実施、体制構築  
【藤井川沿岸土地改良区】

①高潮対策  
【広島県】

①河川改修  
【広島県】

③雨水排水施設の整備  
【尾道市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 藤井川水系・栗原川水系・大田川水系流域治水プロジェクト

二級水系  
流域治水プロジェクト

【ロードマップ】（案）

広島県  
東ブロック

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

○ 藤井川・栗原川・大田川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(大田川)・高潮対策(藤井川)		
		三原市, 尾道市	普通河川の改修【三原市(藤井川水系), 尾道市(栗原川水系)】 普通河川の浚渫【三原市(藤井川水系), 尾道市(大田川水系)】		
	②ダムの洪水調節機能の強化	藤井川沿岸土地改良区	利水ダム等における事前放流の実施, 体制構築(竜泉寺ダム)		
	③内水氾濫対策	尾道市	雨水排水施設の整備(栗原川水系)		
	④雨水貯留機能の向上	三原市, 尾道市	農地等の保全		
⑤山地の保水機能の向上	広島県, 尾道市, 森林整備センター	森林整備, 治山事業			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	福山市	防災指針策定		
		尾道市, 福山市	立地適正化計画の策定・運用		
		福山市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	三原市, 尾道市, 福山市, (広島県)	洪水ハザードマップ作成【三原市, 尾道市, 福山市】		
		三原市, 尾道市, 福山市	出前講座等にて周知		
		三原市, 尾道市, 福山市	内水ハザードマップ作成【福山市】		
⑨高齢者等避難の実効性の確保	⑩防災体制の強化	三原市, 尾道市, 福山市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
		広島県, 三原市, 尾道市, 福山市	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

二級水系  
流域治水プロジェクト

本郷川水系・羽原川水系・新川水系・山南川水系・才戸川水系  
・本谷川水系流域治水プロジェクト【位置図】（案）

広島県  
東ブロック

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、尾道市、福山市】
- ②ダム等の洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策福山市】
- ④雨水貯留機能の向上【尾道市、福山市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、尾道市、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策 等

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
- ・立地適正化計画の策定・運用【福山市】
- ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【尾道市、福山市】
- ・止水板の設置補助【福山市】 等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
  - ・洪水ハザードマップ及び内水ハザードマップの作成【尾道市、福山市】
  - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、尾道市】
  - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【尾道市、福山市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【尾道市、福山市】
  - ・避難行動要支援者への支援【尾道市】
- ⑩防災体制の強化
  - ・情報伝達手段の多重化促進【尾道市】
  - ・水防訓練の実施【福山市】
  - ・関係機関との各種連携【広島県、尾道市、福山市】 等



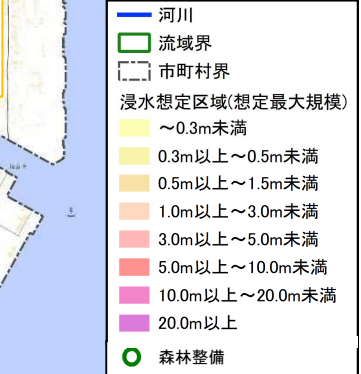
**止水板設置補助金制度**  
自宅や店舗等へ**止水板**の設置をお考えの方へ

最大**50**万円の補助が受けられます！

**止水板とは**  
災害など建物の出入口や、水の浸入が懸念される開口部等に、止水板を設置することで、雨水の浸入を防ぎます。止水板は、洪水や大雨などによって、建物内部への水の浸入を防ぎ、人命の被害を軽減し、建物内部の被害を軽減します。入居者やテナントが設置する場合は、事前に設置の可否を確認する必要があります。

**対象事業**  
●止水板の設置 ●設置工事  
●耐震工事（外壁の防水工事、土間コンクリート）

【問合せ先】 福山市上下水道局経営管理課 耐震・防災サービス課  
083-821-1111（受付時間：午前9時～午後5時）  
083-821-1111（受付時間：午前9時～午後5時）  
083-821-1111（受付時間：午前9時～午後5時）



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 本郷川・羽原川・新川・山南川・才戸川・本谷川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県、(福山市)	河川改修(羽原川)	河川改修(本郷川, 新川【福山市の堰の改築含む】)		
		尾道市, 福山市	普通河川の浚渫【福山市】	普通河川の改修【尾道市】		
	③内水氾濫対策	福山市	雨水排水施設の長寿命化	雨水排水施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	福山市	雨水貯留施設の整備			
		尾道市, 福山市		農地等の保全		
⑤山地の保水機能の向上	福山市	農業用ため池の改良				
	広島県, 尾道市, 森林整備センター		森林整備, 治山事業			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	福山市	防災指針策定	立地適正化計画の策定・運用		
		尾道市, 福山市		浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化		
		福山市		止水板の設置補助		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	尾道市, 福山市, (広島県)	洪水ハザードマップ作成【尾道市, 福山市】	出前講座等にて周知		
		尾道市, 福山市		内水ハザードマップ作成【福山市】	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進	
	⑩防災体制の強化	広島県, 尾道市, 福山市		関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなど、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。